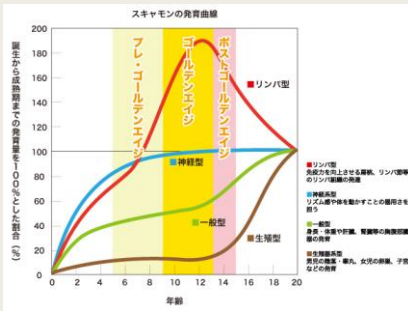




■コーディネーション運動(COE)とは？

- ①個々が持つ能力を見つけ、引き出し、生かして、コーディネートする運動です。
- ②コーディネーション運動とは、脳の指令を筋肉に伝える働きをする「神経系」に働きかけ、それを鍛えるトレーニングのことです。
- ③周りの状況を判断し、頭で思った通りに、自分の体をスムーズに動かすことのできる力を育む運動です。



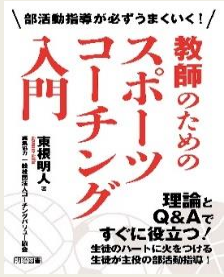
■なぜ幼児期～児童期なのか？

スキヤモンの発育発達曲線(右図)のように3歳～8歳ぐらいまでの幼児期から児童期のはじめにかけての時期(プレゴールデンエイジ)が最も適した時期といえます。幼児期に神経系を鍛えるコーディネーション運動を行うことで、全てのスポーツに繋がる動のもとづくりができます。9歳～12歳頃に訪れるゴールデンエイジまでに様々な運動能力(リズム・バランス・認知・操作・反応)を養うことでゴールデンエイジになった際、力を発揮することができます。0～1歳は親子または、保育士さんとのふれあいを通じて、2～3歳はふれあいはもちろんのこと、運動の基礎づくりと成長にあわせてねらいを持って実施しています。ACVのコーディネーション運動のプログラムは科学的根拠に基づいた運動方法となっています。

■指導法へのこだわり

アクティブ・ラーニング (主体的・対話的で深い学び)

共感するコーチングを通した
これからの教育【アクティブ・ラーニング】



ACV東根著者による代表的な図書

Smart Block 27®

一般社団法人 コーチングバリュー協会
◆代表理事 東根 明人(あずまね あきと)
博士(医学)



1981年早稲田大学教育学部卒業
1984年順天堂大学大学院修了
1995年JOC(日本オリンピック委員会)
在外研修によりライプチヒ大学(ドイツ)に留学し
コーディネーショントレーニングを学び、以後
日本での研究・実践に取り組む。
・富山県未来のアスリート育成事業講師など

◆専任コーチ 大羽 瑠美子(おおば るみこ)



【主な資格】コーディネーション専任コーチ、
足立区公認指導員など
保育者、指導者向け(保育士・教員・スポーツ指導員)の
共感するコーチングセミナー講師、
身体・精神・知的障がい者の指導を担当。
その他、エアロビクス、ベビースイミング、
水泳の指導も行う。

コーディネーション能力の開発と同時に共感するコーチングによりモチベーションをアップさせることができます。私たちが提案する共感するコーチングは「目的を達成するためにコーチ(保育者・保護者)とプレーヤー(子どもたち)が、共同で取り組む知的活動」です。

乳幼児クラスでは、特に「動きことば」を大切にします。動きとことばが繋がることで運動能力と語彙力が高まります。ことばを理解し動けることで、「動く→楽しい→分かる」の良い循環が生まれます。そのためにも子どもたちができる動きを探し、分かることばを使い、変化をつけて繰り返しをします。子どもたちに軸移動理論をはじめとする科学的根拠に基づいた共感するコーチングの技法により子どもたちの心身の成長の為に大人も一緒に創り上げる運動と保育を目指しています。

■ACV HP
・イベント
・教室情報掲載



運動神経に特化した 親子コーディネーション運動



(一社)コーチングバリュー協会は、
「コーディネーション運動(運動方法)」と
「共感するコーチング(実践方法)」の専門家チームであり、
東京を中心に実践・研修・コンサルティングをしています。
コーディネーション運動とは・・・
コーディネーション運動は、体の動きのもとをつくり、
「運動神経」が良くなる運動です。

想像力・表現力・発想力・自発性など、
これからの教育に必要な
資質を研き育てます！

